

 九州国際大学



2025年度版「地域連携活動紹介冊子」

— 連携とつづく地域活動は未完。「地域と育つ、地域が育てる」 —

九州国際大学地域連携センター事務局

Tel. (093) 671-8936 Email [chiki@office.kiu.ac.jp](mailto:chiki@office.kiu.ac.jp)

# 九国大 × 地域連携

九州国際大学では、学生が教室を飛び出し、地域社会を舞台にした実践的な学びに挑戦しています。本冊子では、本学の多彩な地域連携事業の数々をご紹介します。防災や防犯の啓発、SDGs を見据えた環境保全や持続可能なまちづくり、そして多世代交流から海外支援まで、その活動は多岐にわたります。地域の方々と協働し、共に課題解決に取り組む中で逞しく成長する学生たちの姿と、地域との強い絆の軌跡をぜひご覧ください。

## 2025 年度の活動内容

- ・地域モビリティ人材の DX 化 … P 1
- ・「リユースはカッコいい！」  
思い出のバトンをつなぐ ランドセルランド … P 1
- ・出張講座実績 1,900 回超！  
命を守る「事前予防」の防災教室 … P 2
- ・学生主体で地域を守る！  
KITAMAP の実践的防犯活動 … P 2
- ・英語発音ワークショップ  
および地域連携ハロウィーンイベント … P 3
- ・サステナブル体験型キッズイベント … P 3
- ・駅長おすすめの JRウォーキング in 八幡駅事業 … P 4
- ・JICA 世界の笑顔のために事業 … P 4
- ・お祭りに！学びの場に！  
学生 × 大蔵地区のつながるまちづくり … P 5
- ・調査からお祭りまで！  
学生が創る八幡東区の未来とつながり … P 5
- ・マルシェから平和学習まで！  
学生が創る八幡東区のにぎわいと未来 … P 6
- ・絵本からスマホ相談まで！  
学生がつなぐ多世代交流 … P 6
- ・特産品グルメから SNS まで！  
学生が挑む水巻町 PR 大作戦 … P 7
- ・公開ラジオ「ぶっちゃけ！」で地域の魅力を発信中！ … P 7
- ・その他の地域連携活動 … P 8
- ・2025 年、地域連携センター事務室に誕生！「サラクル」 … P 9

# 01

## 【地域モビリティ人材のDX化】

※令和7年度国土交通省「交通空白」解消等リ・デザイン全国展開プロジェクト」採択事業

北海道東神楽町、鳥取県鳥取市、福岡県北九州市、福岡県直方市



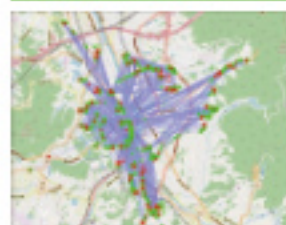
神力 潔司 客員教授  
武藤 一浩 客員教授

### 人口減少・運転手不足に挑む 持続可能な地域交通の維持へ

人口減少や運転手不足が深刻化する中、持続可能な地域交通の維持を目指し、全国4地域の自治体を対象に「モビリティ人材育成事業」を実施しました。自治体職員や交通事業者を対象に、客観的なデータを用いてまちづくりに資する地域交通を地域主体で検討できるスキルの育成を図りました。具体的には、オープンデータを活用して人口動態や移動実態(OD データ)をデジタル地図上に可視化する実践講義や、シミュレーションによる交通素案の作成演習を行いました。さらに、作成した可視化データを

もとに、地域公共交通会議などで多様な関係者と客観的かつ建設的に合意形成を進めるワークショップも実施しました。参加自治体からは「可視化によりイメージが共有でき、合意形成が進めやすい」と高い評価を得ており、データ主導による持続可能な交通計画の実現に貢献しています。

高方市での交通実証実験データ



大規模地理空間データ可視化ツールを活用



# 02

## 【「リユースはカッコいい！」思い出のバトンをつなぐランドセルランド】

イオンモール八幡東、日本財団ボランティアセンター、北九州市、北九州市教育委員会、関西原商事ホールディングス



学生プロジェクトチーム  
「サラクル」



### 「もったいない」が原点！ アイデアと行動力で挑む地域課題解決

地域連携センター発、学生プロジェクトチーム「サラクル」は、イオンモール八幡東と共催で「ランドセルランドin北九州」を実施しました。家庭で保管され処分に悩まれている中古ランドセルを回収し、清掃・補修を施したうえで新小学一年生へ無償譲渡するリユース推進の取組です。物価高の影響を受ける子育て世代の負担軽減に寄与するとともに、寄付者の応援メッセージを添えることで、単なる再利用にとどまらず、思い出をつなぐ取組へと発展させています。また、会場では学生による「見せる補修作業」

を展開し、ランドセルが修復可能であるという新たな価値を発信しました。さらに、(関)西原商事ホールディングスの協力により、北九州市のプラスチックごみを原料とした学校引き出しの譲渡も行い、SDGsの推進と次世代育成を両立する地域連携モデルとして成果を上げています。

中古ランドセルを補修



新入生に中古ランドセルを譲渡



# 03

## 【出張講座実績 1,900 回超！命を守る「事前予防」の防災教室】

八幡東区・前田北地区社会福祉協議会  
八幡駅前開発(株)



村岡 治道 准教授

### 「知る」から「実行」へ！ 図上訓練で高める地域の防災力

村岡准教授は、地域と連携した実践的な防災活動を行いました。企業や自治会向けに実施した「ミニ防災教室」や講演会では、災害図上訓練(DIG)を活用し、家具の固定など未然に被害を防ぐ「事前予防」の手順を伝えています。また、門司港で開催された「北九州防災ミライラボ!」では、地震体験や危険箇所を探す学習など、親子で楽しく学べる体験型ブースを出展し大盛況となりました。ただ「知る」だけでなく、住空間を安全にする具体的な「実行」をサポートするこれらの活動は、参加者が自分の

を守る自助力を身につける素晴らしい学びの機会となっています。

市民センターでの防災講演会



子作りキットで地震体験



自宅の図取りで災害図上訓練



# 04

## 【学生主体で地域を守る！KiTAMAPの実践的防犯活動】

北九州市安全安心推進課、八幡東警察署、福岡県警察、市内大学・地域団体



姜 信一 教授

### マップ作りから啓発活動まで！ 安全・安心なまちづくりに貢献

学生防犯ボランティア団体「KITAMAP」が、警察や行政と連携して実践的な防犯活動を行っています。小学生と一緒に通学路の危険な場所を探す「地域安全マップ活動」や、お祭りで楽しく学ぶ「子ども安全安心パーク」などを企画・運営し、地域の防犯意識向上に大きく貢献。また、商業施設での詐欺被害防止の呼びかけや、ヤミバイト問題を考える県警主催のサミットにも参加しました。これらの活動が高く評価され、福岡県の「安全安心まちづくり・県民の集い」で表彰される快挙も達成しました。学

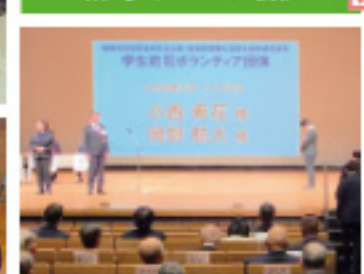
生自らが地域の安全を守るリーダーとして、頼もしく成長しています。



防犯啓発活動 in イオンモール八幡東 (八幡東警察署との連携)



「安全安心まちづくり・県民の集い」でKITAMAP表彰



地域の小学校で「地域安全マップ活動」

# 05

## 【英語発音ワークショップおよび地域連携ハロウィンイベント】

済美保育園  
枝光本町商店街



宮武 香織 教授

### 園児と商店街をつなぐ！ 学生主体の英語教育と地域交流

子どもの英語発音への親しみの醸成と地域交流の活性化を課題として掲げ、英語コースの宮武ゼミが中心となって活動を実施しました。済美保育園での発音ワークショップでは、手作り教材を用いた体験型学習を通じて、園児に英語特有の音やリズムを楽しく学ぶ機会を提供しました。また、枝光本町商店街でのハロウィンイベントでは、園児や地域住民とともに英語表現を実践的に活用しました。これらの活動を通じて、園児の発音力向上が見られたほか、地域との交流促進や商店街の活性化に大きく寄与し

ました。同時に、学生にとっても指導力や企画運営力の向上につながる貴重な学びの場となりました。

済美保育園での英語発音ワークショップ



ハロウィンイベントで  
仮装する済美保育園児



# 06

## 【サステナブル体験型キッズイベント】

㈱ギラヴァンツ北九州



松井 貴英 教授

### スタジアムで遊びながら学ぶ！ 学生主体の環境アクション

本事業は、環境意識の向上と子どもの学びの機会創出を課題とし、松井ゼミの学生が中心となって企画・運営を行いました。「子どもたちに笑顔と学びを」をテーマに、「ストラックアウト × サステナブルクイズ」や「手作りサッカー盤」など、遊びながら環境やリユースの重要性を学べる体験型ブースを展開しました。当日は行列ができるほどの盛況ぶりです。多くの子どもや保護者に加え、ギラヴァンツ北九州のサポーターも参加しました。観戦以外の楽しみを提供することで満足度の向上にも寄与し、学生にとつ

ても企画力・実践力の向上につながる有意義な成果が得られました。

▼制作中の松井ゼミ生



▼手作りサッカー盤



◀ストラックアウト  
サステナブルクイズ

# 07

## 【駅長おすすめのJRウォーキング in 八幡駅事業】

九州旅客鉄道 (JR九州)



木下 温子 准教授

### 歩いて発見！日頃の美化活動から 繋がる魅力満載のコース

大学祭の開催に合わせて「歩いて発見！スポーツ・歴史・お買い物満喫ウォーク！」と題し、JR九州と連携してウォーキングイベントを企画・運営しました。合同ゼミおよびサッカー部が主体となり、日頃から美化活動に努めている大学周辺の道路や大学施設である KIU Field を経由するコースを設定しました。コース内の KIU Field では、地域の方々の健康づくりとスポーツの楽しさを伝えることを目的に、体力測定、ウォーキングフットボール、PK対決、ニュースポーツなどの多彩な体験コーナーを設置しました。

2025年11月29日の開催では560名にご参加いただき、大学祭の集客や地域住民との交流促進に大きく貢献しました。今後は1,000名を超える参加者が集まる他のイベントも参考にしつつ、より魅力的な企画の立案を目指しています。

大学 KIU Field で開催したイベントの様子



# 08

## 【JICA 世界の笑顔のために事業】

JICA (国際協力機構)



木下 温子 准教授

### 途上国へのサッカーボール 寄贈と学びの実践

開発途上国を支援する JICA (国際協力機構) の「世界の笑顔のために」プログラムに参加し、スポーツを通じた国際協力を行いました。活動の導入として、まずは2年生のゼミ生14名が JICA 九州センターを訪問し、JICA の事業概要や国際協力の体験談などを直接学んで理解を深めました。その後、具体的な支援活動としてサッカーボールの寄贈に取り組み、2025年11月にマラウイへ5球、ウガンダへ使えるけど使わなくなったサッカーボール6球を送付しました。2026年にはマラウイから無事に届いたことへ

の感謝を伝えるお礼状が届き、その内容は大学のホームページや学内で広く紹介されました。この事業を通じて、学生たちは途上国の現状を学ぶとともに、寄付という具体的な行動を通して、世界とつながる貴重な経験と実績を得ることができました。

マラウイから届いたお礼状



# 09

## 【お祭りに！学びの場に！学生 × 大蔵地区のつながるまちづくり】

八幡東区・八幡東区自治総連合会  
・まつり起業祭八幡実行委員会



山中亜紀 教授

### 神輿担ぎから餅つき大会まで！ 地域と一緒に育むコミュニティ

八幡東区大蔵地区の地域課題解決に向けて活動するリスクマネジメント実習。伝統行事の「祇園大祭」では、担い手不足をサポートするため、学生が神輿の担ぎ手や子ども神輿の引率として参加し大活躍。また、土曜学級「おおくらっ子」では、地域の方と一緒に子どもたちの昼食作りに携わり、世代を超えた交流を深めました。さらに、年末恒例の「ふれあい餅つき大会」や、お祭りの飲料ブース運営などにも積極的に参加。地域に深く溶け込んだこれらの継続的な活動を通して住民の皆さんとの強い絆が生ま

れ、学生自身も地域を支える一員として大きく成長できる、魅力あふれる実践的な学びの場となっています。

大蔵地区「ふれあい餅つき大会」に参加する学生



「活動報告会」の様子



乳山八幡神社「祇園大祭」に参加する学生



# 10

## 【調査からお祭りまで！学生が創る八幡東区の未来とつながり】

八幡東区・八幡東区自治総連合会  
・枝光本町商店街連合会



花松泰倫 教授

### 夜市やミヤフェスで大活躍！ 地域と考える持続可能なまちづくり

持続可能な未来図「サステナビリティ・デザイン」を多様な主体と描くため、法学部の花松泰倫教授と学生が産官学協働事業を展開しています。両地区は商店街の廃業や行事の担い手不足などの課題に直面しています。これに対し、学生自らが地域へ飛び込み、自治会や商店街でヒアリング調査を実施しました。さらに、枝光本町商店街の「夜市」や「好きっちゃ 織町まつり」、横田地区の「ミヤフェス」など多数の地域イベントの企画・運営に携わり、住民との協働で「つながり」再構築を支援しました。現場調査

からイベント運営、「まちの語り場」での成果発表までを学生が担う本事業は、次代を支えるリーダーを育むとともに、八幡東区のサステナビリティ・デザインを実現するための強固な連携基盤づくりに貢献しています。

▼枝光本町でのインタビュー調査



▼枝光本町商店街の「夜市」



# 11

## 【マルシェから平和学習まで！学生が創る八幡東区のにぎわいと未来】

八幡駅前開発(株)・平野市民センター  
・位地環境戦略研究機構北九州アーバンセンター



三輪 仁 教授

### 「継承と発展」で深まる連携！ 地域と挑むまちづくり

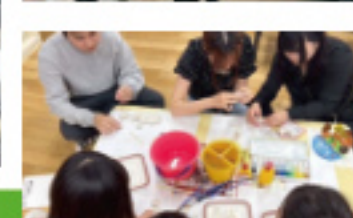
「八幡東区における地域連携の深化促進」を目指し、地域団体と協働した活動を展開しています。八幡駅前では、学生主体でのフリーマーケット「けやきマルシェ八幡」の企画・運営や、美化活動・イルミネーション設置を実施し、にぎわいを創出。交流イベント「Yotteco YAHATA」でも角打ちブースなどの新企画で会場を大いに盛り上げました。また、平野市民センターでは「平野塾」と連携し、戦後 80 年の平和学習として動画作成や座談会を実施。さらに IGES 北九州と協力し、児童向けの森林ワークショップ

ブを開くなど、幅広い世代との交流を深めました。10 期目を迎える連携基盤を活かし「継承と発展」を掲げる本事業は、連携先との意見交換会も実施するなど、学生が主体的に地域課題に向き合う魅力的な実践的学びの場となっています。

▼第9回けやきマルシェ八幡



▼戦後 80 年 小伊藤山敷堂祭



児童向けワークショップ

# 12

## 【絵本からスマホ相談まで！学生がつなぐ多世代交流】

八幡東区役所



柴畑 恭介 准教授

### 子ども食堂と「おすそわけ」で広がる！ 商店街の温かい居場所づくり

現代ビジネス学部の柴畑ゼミは、八幡中央区商店街を舞台に心温まる多世代交流に取り組んでいます。毎月商店街で開催される子ども食堂では、学生が子どもたちの見守りや遊び相手として大活躍。12 月には学生制作の「八幡の絵本」の読み聞かせや巨大モグラたたきを実施し、子どもと高齢者の笑顔をつなぎました。さらに、食料配布と交流を行う「みんなでおすそわけ事業」にも運営スタッフとして参加。学生自ら企画した「スマホ相談コーナー」を設置し、お年寄りが気軽に立ち寄って会話や滞在を楽

しめる温かい交流の場を生み出しました。こうした活動を通じて、学生たちは自らのアイデアを地域活動の中で形にし、交流を重ねながら地域への理解を深めています。

商店街での子ども食堂「モグラたたき」ブース  
「八幡の絵本読み聞かせ」ブース



中央町 みんなでおすそわけ事業  
「スマホ相談」ブース

# 13

## 【特産品グルメから SNS まで！学生が挑む水巻町 PR 大作戦】

水巻町



小野寺 剛 教授

### 「知ってる」から「行きたい」へ！ 調査と実践で高める町の魅力

水巻町と連携して「水巻町知名度向上プロジェクト」に取り組む小野寺ゼミ。大学祭では、特産品「でかんにく」のスパイスを使った焼き鳥の模擬店や、公式キャラクター「みずまる」グッズの販売ブースを出店して大盛況でした。さらに、来場者へのアンケート調査を実施し、「名前は知っているが行ったことがない」という現状の課題を浮き彫りにしました。また、学生自ら町へ足を運び、若者目線で観光地やグルメを Instagram で発信。動画形式など見せ方を工夫し、より多くの人に町の魅力を届ける方法

を検証しました。単なる PR にとどまらず、調査から情報発信の実践、効果分析までを学生が担う本事業は、地域課題を捉えアクションへとつなげる実践的な学びの場となっています。

Instagram で情報発信



大学祭で水巻町の特産品販売ブースを出展する小野寺ゼミ

水巻町公式キャラクター

「みずまる」▶



## その他の地域連携活動

### ・学生プロジェクトチーム「サラクル」

事業名称：スケッター（介護支援事業）

事業内容：北九州市内の介護福祉施設にて利用者への「足湯」を経験。

事業名称：拝命 社長秘書！（地元企業研究事業）

事業内容：北九州市内の企業経営者に同行し、大学生目線で経営者の視点を学ぶ事業。

事業名称：ファン獲得プロジェクト（プロスポーツチーム応援事業）

事業内容：地元プロサッカーチーム「ギラヴァンツ北九州」の本拠地にて、「サステナブル応援隊」として、試合会場でのブース運営やスタジアムの清掃を行う事業。

### ・大形里美教授と国際社会学科の学生有志

事業内容：トゥマン・ハティ福岡と博多どんたく港まつりどんたくパレード『インドネシア共和国どんたく隊』に参加。

# 14

## 【公開ラジオ「ぶっちゃけ！」で地域の魅力を発信中！】

八幡東区役所、JICA 九州



九国大報道部

### 区役所や JICA とコラボ！ マイクでつなぐ八幡の輪

九国大報道部の学生たちが、マイクを手に地域の魅力を発信しています。地域イベントでは、1,000 人超の市民が参加する「皿倉山健康ウォーク」の出発式や冬の祭典「Yotteco Yahata」でステージ MC を担当し、会場を大いに盛り上げました。また、JICA 九州レストランでの公開ラジオ「ぶっちゃけ！」では、外国人研修員や職員をゲストに迎え、国際色豊かな異文化交流トークを展開します。さらに、八幡東区役所とコラボした新番組『カクハチ』も始動しました。角打ちのように人情が行き交う街ぶら番

組として、起業祭や商店街の隠れた魅力を学生目線で発信しています。イベントの司会進行から番組制作までを学生自身が担うこれらの活動は、地域と深くつながりながら実践的なメディアスキルを磨く、魅力あふれる学びの場となっています。

皿倉山健康ウォーク司会の様子



八幡東区役所公式 Instagram 「カクハチ」にて起業祭を PR



## これからも、地域とともに。

地域のお困りごと、  
九国大と一緒に。

皆さまの「声」が私たちの原動力です！

「地域に課題があるけれど、どこから手をつけていいか…」  
「若者の新しい視点やアイデアを取り入れてみたい！」  
そんな、日常のお困りごとや、将来への漠然とした不安はありませんか？

私たちは、決まった形を提供するだけでなく、  
地域の皆さまの声に耳を傾け、ゼロから一緒に解決策を考える  
「オーダーメイドの地域連携」をご提案したいと考えています。  
小さな疑問やご相談でも構いません。  
地域の課題と一緒に「希望」に変えるお手伝いをさせていただきます。

お問合せ先：九州国際大学 地域連携センター事務室

〒805-8512 北九州市八幡東区平野一丁目6-1  
Tel. (093) 671-8936 Email chiiki@office.kiu.ac.jp



# Topics

## 2025年、地域連携センター事務室に誕生！

### 「サラクル」

2025年、九州国際大学地域連携センター事務室に学生プロジェクトチーム「サラクル」が誕生しました。「地域の課題はゲンバでまなぶ」を合言葉に、九国大生が行政や企業と協力し、社会の現場で課題解決に取り組むプロジェクトチームです。

高齢者支援や地域振興、子育て世代応援等の活動を通じ、まちを明るく照らす次世代の人材を育成しています。



【サラクルとは】新日本三大夜景のひとつである「皿倉山」と「サークル（団体）」を掛け合わせて名付けました。皿倉山のように、多くの人が集まり、町を明るく照らす存在になってもらいたいという思いを込めています。

### サラクルの活動 4カ年計画

2025年に誕生した学生プロジェクトチーム「サラクル」は、現在1・2年生を中心に40名弱の九国大生が所属しています。選ばれるのにはワケがある！4年間の活動計画はこちら。

#### 1.2 年生

Mission

「地域を知る」

多くの地域住民と交流し、ふれあいを通して、地域の暮らしや課題について学ぶ時間です。活動内容は毎年「キャリアシート」に記録し、将来の就職活動でアピールできる実績として蓄積していきます。

#### 3 年生

Mission

「課題を発見する」

地域で暮らす人々が抱えるさまざまな課題に目を向け、新しい視点から解決に繋がるプロジェクトを考える時間です。また、これまでの活動内容を整理し、就職活動の「履歴書・エントリーシート」に反映させます。

#### 4 年生

Mission

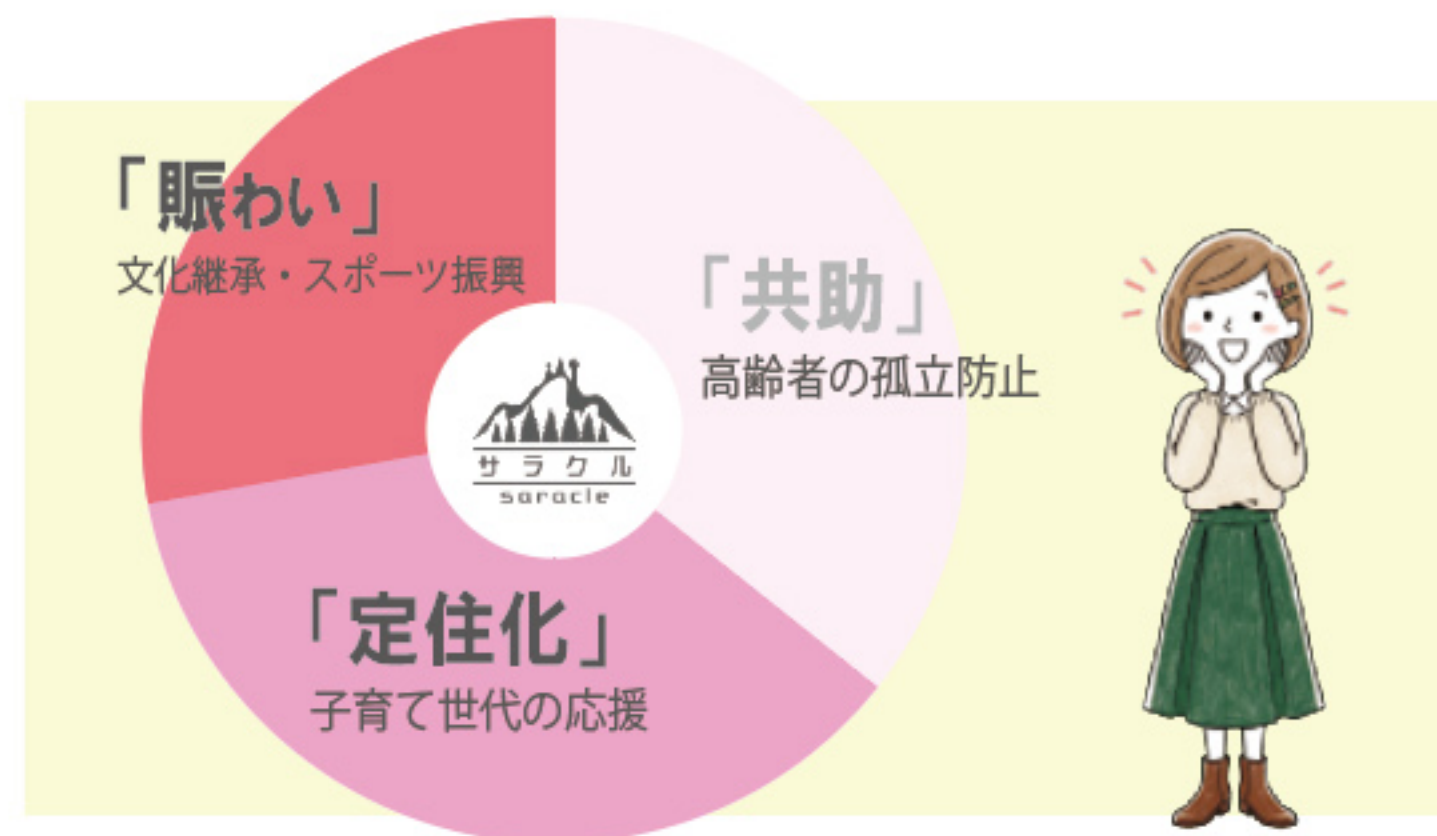
「後輩を育てる」

過去のプロジェクトで培った経験や考え方を活かしながら、新たな仕組みでプロジェクトを整理し、後輩の育成に取り組む時間です。



学生プロジェクトチーム「サラクル」がめざす3つのテーマ

## 共助+定住化+賑わい



### 「賑わい」

文化継承・スポーツ振興

### 「共助」

高齢者の孤立防止

### 「定住化」

子育て世代の応援

学生プロジェクトチーム「サラクル」は、以下の3つのテーマに基づいて活動を展開しています。

#### Theme 1 高齢者の孤立防止と「地域共助」

高齢化や介護人材不足の地域課題に対し、学生の若い力とコミュニケーション能力を活かして高齢者を支援します。「スケッター」事業では、介護施設で足湯や対話による心のケアを実施しています。現場での直接的な関わりを通じて、世代を超えて地域を支え合う持続可能な「共助」のモデルを構築することを目指しています。(2026年度新規事業：高齢者のお庭レスキュー)

#### Theme 2 子育て世代の応援と「定住化」

北九州市におけるファミリー層の定住化促進に向け、子育て世代への支援を行っています。主な活動の「ランドセルランド」では、市民から寄付された中古のランドセルを清掃・リペア(修繕)し、新一年生へ譲渡しています。この活動を通じ、物を大切に作る心を伝えるとともに、子育て世代が安心して暮らせる地域づくりに貢献しています。

#### Theme 3 文化継承・スポーツの振興による「まちの賑わい」

地域の魅力と活力を高め、住民が地元を誇りを持てる環境づくりを目指しています。文化継承面では歌舞伎などの伝統芸能の普及活動を支援し、スポーツ面ではギラヴァンツ北九州など地元チームのスタジアム運営を学生がサポートします。人々と協働して交流の場を創出し、まちの賑わいを生み出して地域社会を明るく照らします。(2026年度新規事業：市民センター公開ラジオの配信)